

日本金融学会 2023 年度春季大会国際金融パネル

パネル主旨

<テーマ>

為替相場とインフレ：円安がインフレを招いたのか

<概要>

2022 年には「悪い円安」という言葉が、2022 年の流行語に贈られる「現代用語の基礎知識選 2022 ユーキャン新語・流行語大賞」のトップテンに入ったという。円安が輸出を通じて景気を押し上げるというかつての認識が修正されたのに加えて、円安はインフレの大きな要因であるという認識が一般に広まっていることを表しているといえるだろう。

しかし、今回のインフレは円安の影響が主要因といえるのか。その影響はどれくらいのものであるのか、また、アメリカや欧州のインフレにも、為替相場の影響はあるのだろうか。

「原油価格高騰、世界インフレ、円安の日本経済への波及」という前回のテーマからさらに焦点を絞って為替相場とインフレの関係について検証する機会としたい。

<構成>

座長：日本経済研究センター 左三川郁子氏

報告者（報告プレゼンテーション 20 分程度）

（1）日米欧のインフレの要因について

ニッセイ基礎研究所 高山武士氏

（2）円安の要因、日本のインフレへの影響

ブルームバーグ 増島雄樹氏

（3）日本のインフレの要因

明治学院大学 佐々木百合氏

ディスカッション（30 分程度）

以上